

収入計算書〔前年（2022年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 _____ 大学 _____ 研究科 _____

○課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程
2. 一貫制博士
3. 博士後期課程
4. 法科大学院
5. 専門職大学院課程（法科大学院を除く）
6. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程

○申込者氏名 _____

○学籍番号 _____

〔各項目1万円未満切り捨て〕

前年（2022年1月～12月）の収入額 【証明書類必要】		
	収入項目	収入額（A）
定職 (◎)	定職（本人）	（年額） 万円
	定職（配偶者） 〔該当者のみ〕	（年額） 万円
アルバイト (◎)	アルバイト1	（年額） 万円
	アルバイト2	（年額） 万円
	アルバイト3	（年額） 万円
	父母等からの給付額（★）	（年額） 万円
	奨学金	（年額） 万円
	その他の収入（利子・配当・不動産 ・年金等の公的手当て・預貯金の取崩等）	（年額） 万円
ア	収入額合計	（年額） 万円

〔記入時の注意事項〕

◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

〔重要〕

収入額合計は、0万円とにならないよう記入してください。

- ・この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込（前年に対して変動が見込まれる場合に限る）の収入金額をスカラネットに入力してください。
- ・必要となる証明書類は裏面に添付してください。

〔裏面につづく〕

前年用（裏）

父母等が以下の費用を負担している場合、各月の合計額を計算・記載し、父母等の署名の入った原本を提出してください。（各月の計算が難しい場合は、年額でも可）

○日常生活費

食費、住居費、光熱費、その他の生活に関わる費用について、ご家族にもご確認の上、「世帯支出合計額÷世帯人数」で一人当たり費用を計算してください。
大まかな金額で結構です。

○授業料

大学院の授業料について、年額支払いの場合は4月、半期ずつ支払いの場合は4月、10月に記載してください。

○通学費（定期代等）

定期券等の場合は購入月、それ以外の場合は月額交通費を記載してください。

○その他費用

上記以外の日常生活に係る毎月の費用があれば含めて計算してください。

父母等からの給付額については下記資料P28をご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/_icsFiles/afieldfile/2023/02/17/in_annai_kakuninsyo.pdf>

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 _____

○給付者氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

[千円単位：合計欄のみ1万円未満切捨て]

(2022年)

1月	千円	8月	千円
2月		9月	
3月		10月	
4月		11月	
5月		12月	
6月		小計	万円
7月			

[月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。]

前年用と本年見込用が表面の位置とは左右反対になっておりますので、ご注意ください。